

# 一般会計



# 1 款 議会費



事業概要

事務事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事務事業名	議会の運営					事業類型	内部事務						
担当部課	議会事務局 庶務調査課、議事課												
基本計画	編	-	章	-	施策番号	-			まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-		
予算科目	会計	一般会計			款	01	議会費	項	01	議会費	目	01	議会費
根拠法令等	地方自治法、八王子市議会基本条例、八王子市議会委員会条例、八王子市議政務活動費の交付に関する条例、八王子市議会会議規則、八王子市議会決定事項												
事業目的 (最終的に目指す状態)	市民に開かれた議会を目指し、本会議・委員会等の市議会の運営、活動を実現すること。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	80,376	75,490	79,567	4,077	経常収入	保険料	0	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	12,233	7,643	19,051	11,408		国庫支出金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0	0
	小計		92,610	83,133	98,618	15,485		分担金及び負担金	0	0	0	0
	物件費等	物件費	21,804	18,315	14,969	△ 3,346		使用料及び手数料	0	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	0	242	966	725		その他	157	150	177	27
		その他	0	0	0	0		小計	157	150	177	27
	小計		21,804	18,557	15,936	△ 2,621		経常収支差額(A)	△ 139,812	△ 129,677	△ 138,072	△ 8,395
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別収入	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0	0
	小計		0	0	0	0		本年度収支差額 (A) + (B) = (C)	△ 139,812	△ 129,677	△ 138,072	△ 8,395
	小計		114,413	101,690	114,554	12,864						
	移転費用		25,556	28,137	23,695	△ 4,442						
小計		139,969	129,827	138,249	8,422							

2年度	経常費用	経常収入
主な内訳	速記及び会議録原稿作成委託料【6,424千円】 インターネット配信委託料【3,300千円】 全国市議会議長会等負担金【2,768千円】 政務活動費【20,926千円】	-

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
11.09人	10.44人	11.13人	0.69人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
①	その他	人件費比率	%	66.2	64.0	71.3	7.3	
②	活動指標	会議の回数	回	128	136	145	9	実績による
		単位当たりコスト	円/回	1,093,510	954,611	953,440	△ 1,171	
③	活動指標	政務活動費の執行率	%	87.1	88.4	72.6	△ 16	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う管外行政視察の中止等によるもの
		単位当たりコスト	-	-	-	-	-	
④	活動指標	調査受付・依頼件数	件	327	290	290	0	実績による
		単位当たりコスト	円/件	428,041	447,679	476,720	29,040	
⑤								
		単位当たりコスト	円/					

## 事業実績

2年度目標	<p>◎議長諮問機関「議会改革を推進する会議」における「議会報告会のあり方」「議会基本条例検証結果による検討事項」「議会のICT関連」の検討を補佐 ⇒マンパワー事業（議会改革への取り組み）へ</p> <p>◎新たな委員会活動を行う上でのガイドライン・運用基準の調整が整い、新たな委員会運営体制の構築 ⇒マンパワー事業（議会改革への取り組み）へ</p> <p>◎令和3年度中間改選時に正副議長選挙時の「所信表明会」の開催を検討</p>	元年度末 時点の課題	・市議会の新たな委員会活動体制の構築
目標に対する 事業実績	<p>◎議会改革を推進する会議の運営 7回及び諮問答申・ICT導入準備会運営 2回（事務局として補佐） ⇒マンパワー事業（議会改革への取り組み）へ</p> <p>◎令和3年度中間改選時に正副議長選挙時の「所信表明会」を開催するためのガイドラインの作成</p> <p>◎本会議 23回、常任委員会 36回、特別委員会（分科会含む）29回、議会運営委員会 21回、市議会協議会 4回、会派代表者会 19回、特別委員会設置基準及び所管事務調査ガイドライン検討会議 4回</p>	課題への対応	<p>・合意形成が得られるよう具体的な判断メニュー等を作成・提示</p>
2年度評価	達成	次年度（4年度） 以降の展開	解決  現状維持

## 今後の取組

3年度目標	<p>◎令和2年度までマンパワー事業として取り組んできた「議会改革への取組」の課題である「議会のICT化推進事業」につき、議会の運営事業に組入れ予算事業として実施する。</p> <p>◎各常任委員会において、所管事項に関する調査が能動的に行われ、専門性を発揮した政策提案や提言を目指し、委員会活動が活性化するように、各常任委員長を補佐する。</p> <p>◎各種会議における情報共有会議システム及びタブレットの活用の調査・研究を進め、令和4年度からオンライン会議等新たな会議運営の試行に入れるよう準備を進める。</p>	2年度末 時点の課題	<p>・常任委員会所管事務調査の適正な実施に向けガイドラインについての全議員の共通認識の確立</p> <p>・情報共有会議システム及びタブレット端末の会議における活用方法が未定</p>
3年度の取組	<p>◎クラウド型情報共有システム・タブレット端末導入、運用 ・導入：～R3.7月、運用：R3.9月～</p> <p>◎常任委員会所管事務調査 ・市議会協議会での全議員へ要点解説（6月） ・常任委員会で調査テーマの決定（6月） ・常任委員会で調査・研究の実施（8～R4.3月）</p> <p>◎情報共有会議システムの活用 ・議案や報告資料の掲載範囲・方法等について市側との調整（5～11月） ・タブレット端末での議案や資料閲覧に応じた本会議等の運営及びその検証（8月～R4.3月） ・オンライン会議など新たな会議運営についての調査研究（11月～R4.3月）</p>	4年度の計画	<p>・令和3年度の各取組を検証し、改善を図る。</p> <p>・各常任委員会において所管事務調査に基づく政策提言等を行う。</p> <p>・オンライン会議など新たな会議運営を一部の会議体で試行する。</p>

事業概要

事務事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事務事業名	市議会だよりの発行					事業類型	内部事務						
担当部課	議会事務局 庶務調査課												
基本計画	編	-	章	-	施策番号	-			まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-		
予算科目	会計	一般会計			款	01	議会費	項	01	議会費	目	01	議会費
根拠法令等	議会基本条例												
事業目的 (最終的に目指す状態)	議決機関としての活動状況を積極的に市民に周知し、議会への関心を喚起すること。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	21,743	20,246	20,017	△ 230	経常収入	保険料	0	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	3,407	1,872	3,633	1,760		国庫支出金	169	175	180	5
		その他	0	0	0	0		都支出金	85	87	90	2
	小計	25,150	22,119	23,650	1,531	分担金及び負担金		0	0	0	0	
	物件費等	物件費	15,630	16,122	16,702	580		使用料及び手数料	0	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	0	0	0	0		その他	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		小計	254	262	269	7
	小計	15,630	16,122	16,702	580	経常収支差額(A)		△ 40,526	△ 37,978	△ 40,082	△ 2,104	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別収入	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	本年度収支差額 (A) + (B) = (C)		△ 40,526	△ 37,978	△ 40,082	△ 2,104	
	小計	40,780	38,240	40,352	2,111							
	移転費用	0	0	0	0							
小計	40,780	38,240	40,352	2,111								

2年度	経常費用	経常収入
主な内訳	市議会だより印刷費【8,000千円】 市議会だより各戸配布等業務委託料【7,846千円】	-

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
3.00人	2.80人	2.80人	0.00人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因	
①	その他	人件費比率	%	61.7	57.8	58.6	0.8	
②	活動指標	市議会だより発行部数	部	1,123,900	1,127,800	1,131,200	3,400	世帯数の動向による
		単位当たりコスト	円/部	36	34	36	2	
③		単位当たりコスト	円/					
④		単位当たりコスト	円/					
⑤		単位当たりコスト	円/					

## 事業実績

2年度目標	市民にわかりやすい市議会だよりを発行し、市民が市議会や市政に対する理解を深める一助となること。	元年度末時点の課題	記事を読んでもみようと思えるよう、引き続き改善を進め、より読みやすく、読みまちがえにくい紙面とする。
目標に対する事業実績	<p>①文字ばかりにならないよう、箇条書きや図表・写真・イラストを多用し、ホワイトスペースを確保して、見やすく、読みやすくした。</p> <p>②斜め読みができるよう、小見出しを付け、記事の拾い読みで内容が伝わるようにした。</p> <p>③表紙面の文字情報を減らし、写真を大きくするなど、より手に取って、記事を読んでもみようと思えるよう、紙面づくりに取り組んだ。</p> <p>④コロナ禍の中、市議会における議論や対応を掲載したほか、開催できなくなった議会報告会について、紙面も活用し、議員自ら記事づくりに取り組んだ。</p>	課題への対応	<p>タイトルや小見出しの大きさや配置を工夫とともに、写真やイラストを盛り込むことで、より記事を読んでもみようと思える紙面づくりに取り組んだ。</p> <p style="text-align: center;">解決</p>
2年度評価	達成	次年度（4年度）以降の展開	改善

## 今後の取組

3年度目標	市民にわかりやすい市議会だよりを発行し、市民が市議会や市政に対する理解を深める一助となること。	2年度末時点の課題	記事を読んでもみようと思えるよう、引き続き改善を進め、より読みやすく、読みまちがえにくい紙面とする。 また、紙面に掲載されていない議論などについて、QRコードの活用を検討する。
3年度の取組	<p>①文字ばかりにならないよう、箇条書きや図表・写真・イラストを多用し、ホワイトスペースを確保して、見やすく、読みやすくする。</p> <p>②斜め読みができるよう、見出しの拾い読みで内容が伝わるようにする。</p> <p>③市議会の活動をわかりやすく伝えるため、紙面の許す限り特集を組んでいく。</p> <p>④紙面に掲載されていない議論などについて、QRコードの活用を検討する。</p>	4年度の計画	本会議や委員会以外の活動や特集を組むことにより、市民が市議会や市政に対する理解をさらに深められるよう、市民にわかりやすい市議会だよりを発行する。

事業概要

事務事業評価シート(令和2年度(2020年度)事業)

事務事業名	海外友好都市調査・研究					事業類型	内部事務						
担当部課	議会事務局 庶務調査課												
基本計画	編	-	章	-	施策番号	-			まち・ひと・しごと創生総合戦略	-	-		
予算科目	会計	一般会計			款	01	議会費	項	01	議会費	目	01	議会費
根拠法令等	海外友好交流都市盟約												
事業目的 (最終的に目指す状態)	海外友好交流都市の調査・研究を通じ、様々な分野での市民の交流が活発に行われ、多文化共生のまちづくりを推進すること。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)		
経常費用	人件費	職員給与費	3,696	1,808	0	△ 1,808	経常収入	保険料	0	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	2,181	158	0	△ 158		国庫支出金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0	0
	小計	5,877	1,966	0	△ 1,966	分担金及び負担金		0	0	0	0	
	物件費等	物件費	1,020	760	0	△ 760		使用料及び手数料	0	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	0	0	0	0		その他	0	1,666	1,671	5
		その他	0	0	0	0		小計	0	1,666	1,671	5
	小計	1,020	760	0	△ 760	経常収支差額(A)		△ 7,077	△ 1,060	1,671	2,731	
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別収入	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	本年度収支差額(A)+(B)=(C)		△ 7,077	△ 1,060	1,671	2,731	
	小計	6,897	2,726	0	△ 2,726							
	移転費用	180	0	0	0							
小計	7,077	2,726	0	△ 2,726								

2年度	経常費用	経常収入
主な内訳	—	—

事業の人員体制(会計年度任用職員を除く)

30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)
0.26人	0.25人	0.00人	△ 0.25人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	30年度	元年度(a)	2年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
①	その他	人件費比率	%	83.0	72.1	—	—
②	活動指標	交流件数	件	1	—	—	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による海外渡航制限等に伴い、視察及び視察受入れを取り止めたことによるもの。
		単位当たりコスト	円/件	7,077,234	—	—	
③		単位当たりコスト	円/				
④		単位当たりコスト	円/				
⑤		単位当たりコスト	円/				

## 事業実績

2年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台湾高雄市への視察を成功させ、有意義なものとする。</li> <li>・議員の海外友好交流都市への訪問のあり方の検討による交流の充実を目指す。</li> </ul>	元年度末 時点の課題	—
目標に対する 事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友好交流協定を締結している台湾・高雄市への議員視察の実施に向け、議会会派代表者会での議論を重ねてきたが、令和元年度末以来、世界中を席卷する新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、海外友好都市との交流を取りやめることとなった。</li> <li>・海外友好交流都市への訪問のあり方については、市議会として引き続き検討を行った。（事前検討判断については達成）</li> </ul>	課題への対応	—
			—
2年度評価	達成	次年度（4年度） 以降の展開	現状維持

## 今後の取組

3年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国泰安市への視察を成功させ、有意義なものとする。</li> <li>・議員の海外友好交流都市への訪問のあり方の検討による交流の充実を目指す。</li> </ul>	2年度末 時点の課題	—
3年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議員の海外友好交流都市への訪問のあり方の再検討により交流の充実を図る。</li> </ul>	4年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引続き、議員の海外友好交流都市への訪問のあり方の再検討により交流の充実を図る。</li> </ul>